

テーマ

ドライアイスの気体を火にかけよう!

概要

ドライアイスとは何か、その性質を調べます。

準備物

ドライアイス、カキ氷器、ろうそく、着火ライター、板目紙、釘、気泡緩衝シート、かなづち、軍手、OHPシート、ポリ袋、ストロー（じゃばら付き）、空気入れ、プラスチックスプーン、発泡スチロール容器、セロハンテープ、はさみ、ものさし、筆記用具

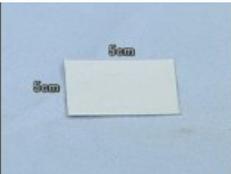
注意

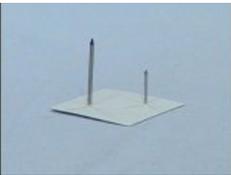
やけど注意（高温やけど、低温やけど）、換気注意（ドライアイス（二酸化炭素）、煙）

実験手順

- 1  気泡緩衝シートにドライアイスをはさんで、適当な大きさに割ります。

- 2  かき氷器の中に適当な大きさのドライアイスを入れ、ドライアイスの粉を作ります。

- 3  板目紙を縦横5cmの正方形に切ります。

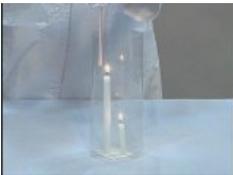
- 4  大きい釘と小さい釘をさします。

- 5  OHPシートを筒状にして、セロハンテープでとめます。

- 6  釘をさした板目紙を固定し、小さい釘に短いろうそく、大きい釘に長いろうそくをさします。
-

- 7  ろうそくに火をつけ、筒をかぶせます。
-

- 8  ポリ袋にドライアイスの粉を入れ、口を持って軽く振り、袋を膨らませ、曲がるストローの短い方をさし込みます。
-

- 9  ストローの長い方を筒の中にさし込み、袋を押し中の中の気体を筒の中に入れて、ようすを観察します。
-

製作・著作

株式会社ワオ・コーポレーション

監修

滝川洋二（NPO法人ガリレオ工房理事長）

リリース年

2012年